

「風水と抱護」

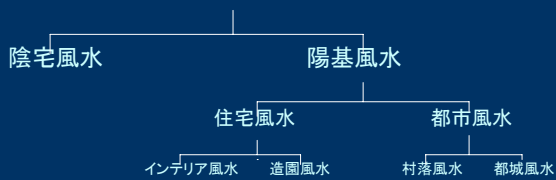
—私の環境観—

富山国際大学 現代社会学部
浦山 隆一

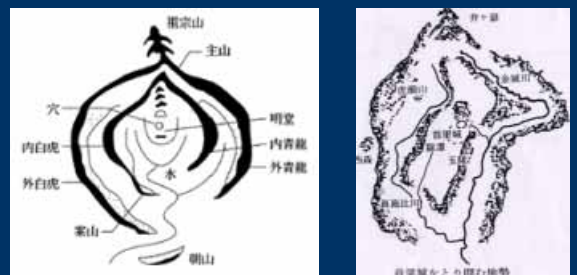


塵根の上のシーサー

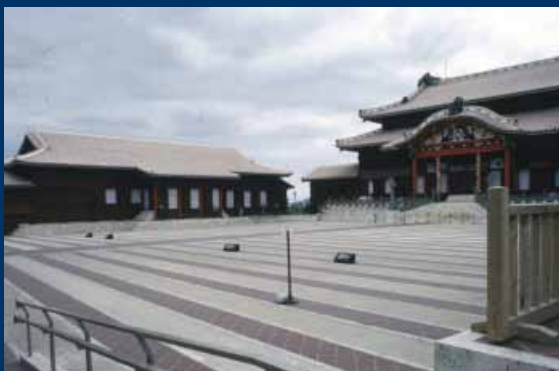
風水の体系



- 風水の見方と方法: 「一山二河三方位」
 - ①看龍法
 - ②蔵風法
 - ③得水法
 - ④定穴法
 - ⑤坐向論
 - ⑥形局論



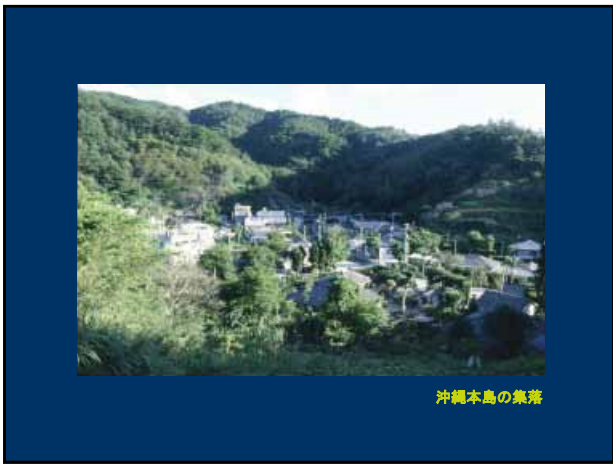
風水の地形構成概念図
と琉球・首里城の地形



首里城の明堂空間



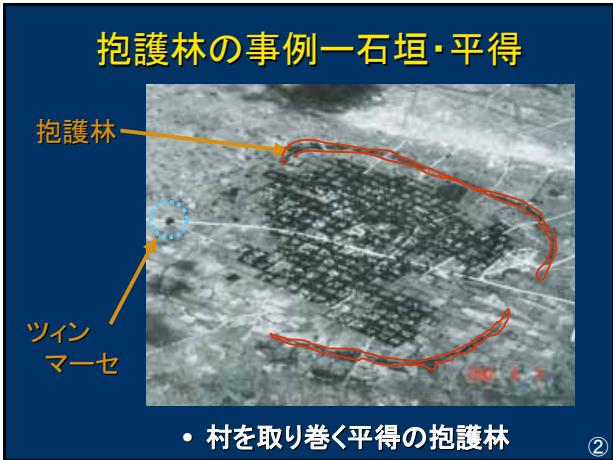
亀甲墓



東アジア各地の風水思想

- 形法と理法の存在
- 形法**(形勢学派・江西派): 9世紀頃より始まり、自然地形を重視して「気」の流れによって解釈し、良い場所を見つける。
- 理法**(原理学派・福建派): 11世紀頃より始まり、方位を重視して、良い方向を定める。

各地域での風水	形法	理法
中国……経済開放政策により復活、研究始まる	○	○
台湾……広く用いられ、風水師が存在	○	○
韓国……墓地選定のよく用いられ、国都選定に用いた	◎	△
沖縄……中国より風水を導入、現在あまり使用せず	△	○
香港……現在も盛ん、建築・墓地・インテリアに多様	△	◎
日本……家相は存在するが、地形判断はほとんどなし	×	○



沖縄の抱護・抱護林の論理

風水関連や林政関連文献に「抱護」の語と、それを根拠とする植林の方策や指示が示される。

蔡温 『山林真秘』
鄭良佐 『北木山風水記』
など

風水書に見る抱護の概念
…村の周囲を囲む林

③

文献にみる抱護と植林の例

●蔡温『仙山法式帳』

「…亦山氣之不洩様、諸山之相困候を抱護と申し候。亦抱護左右の手先にて衣裳之領を打合候様に入違候所を、抱護之閉と申候事。」

●鄭良佐『北木山風水記』『四村風水記』

「夫れ地理の法は山背き水走りて抱護の情なければ、則ち陰宅・郷城俱に建つべからず。…按ずるに本島の満勢嶽は抱護の情なく、皆野底山は廻環して抱護の情有り。…宜しく図に照らして皆野底山及び各村の後山に多く樹木を栽え、以て其の勢いを佐くべし。」(町田・都築による読み下し)

④

多良間島の現存する抱護林



多良間島の抱護林



▲ 集落外から見た抱護林

フクギの植林が行われた抱護林の内部



抱護林の事例 —石垣・四箇村

すでに村抱護林は現存しないが、産業道路沿いに一定の幅を持った地筆が存在する



現在の地籍図に残る村抱護林の地筆(着色部分)
(『石垣市史各論編 民俗 上』、p169を参考とする)

地籍図に抱護林を見る

現代の地籍図に残る抱護林(着色部分)

100-1から100-3番地は本来一つの区画(100番地)が分かれたもの

明治末期の地籍測量の際にすでに地目界が存在し、横に長い何らかの土地利用が存在した。
→抱護林



⑥

八重山日航ホテルから見た産業道路



抱護林の検討から

- 風水的な意味づけの存在:「気」を溜める・漏洩を防ぐ等
- 風水だけではなくきわめて複合的な意味を持つ:防風、祭祀(民俗信仰含む)、境界、さらに水源(井戸)と関係して計画した可能性。
- 林が形成される位置の違い:多良間島と石垣市四箇村の原理の違い。

13

香川 たからだの里 環の湯

お湯につかれば風水パワーで元気になれる!?

「気」が集まるという広々した浴室



住所 / 香川県三豊郡財田町財田上
1110-5
TEL 0875-67-2614
営業 / 9:00-21:00
定休日 / 毎週月曜(祝日の場合は翌日休み)
料金 / 大人500円、子供(3-12歳)300円
交通アクセス / JR土讃線財田駅から車で5分

自然のエネルギー「気」の流れを読み、風水の考え方を取り入れて設計されたという温泉施設。建物は、エネルギーが循環する輪の形をしており、庭に集められた「気」は浴室に流れ込むようになっているそうだ。お湯は茶褐色の「黄金の湯」と白い「白銀の湯」の2種類があり、それぞれ性質が違う。また、彫刻家・速水史朗氏の制作によるモニュメント「主(ぬし)」や「天井の庭」など芸術作品も見どころ。



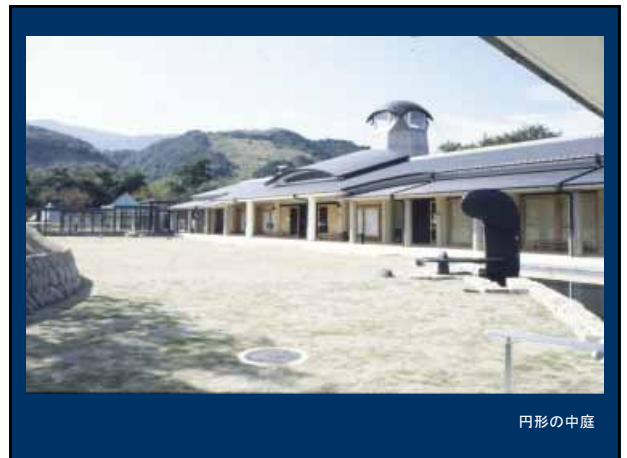
たからだの里 環の湯



高齢者福祉サービス施設「たからだの里:環の湯」



アプローチ



円形の中庭



生気を集める塔



塔から見た中庭



北側の黒い柱



時晷(時間の象徴)



西側の白い柱



南側の赤い天井



鬼門の方角に座る「待ちぼうけ鬼」
(鬼には鬼を！)

現代の風水応用の意味

- 近代計画理論の見失っていた環境保全やエコロジー、景観の認識に寄与する。
東洋的立地論／ 伝統的環境アセスメント
- 生活環境の根柢づけ(環境と心性)への重視
- 認識の転換
 - ・自然: 生産・消費→維持・保全・融通
 - ・人間/自然: 客観の対象→自己存在を含めて
 - ・資源: 無尽蔵→有限
 - ・方法: 分析→ゲシュタルト的
 - ・社会理念: 均質化→異質性
 - ・宇宙論: 静態的一動的
 - ・行動: 最適解→バランス型